

## 難問多い格納庫の再構築 ～着地点を模索中～

### ○会報の遅れを陳謝

3月30日に11号を、4月12日に市長選公開質問状の臨時号を出したあと、4ヵ月近くも会報を出さず、活動状況を会員の方々にお知らせしなかったことを深くおわびいたします。お会いした会員や格納庫保存のため署名して下さった方々から「その後どうなっているの」とお叱りを受けています。本当に申し訳ありません。遅ればせながらこれまでの経過を報告させていただきます。

### ○開けぬ展望

4月24日の鈴鹿市長選以降、NTT西日本の本社訪問、鈴鹿市の幹部の方との面談、市議会への陳情など、部材保存されている旧海軍の第4格納庫の再構築を目指して動いてきました。しかし、なかなか展望が開けず、正直いって苦悩しているところです。

5月14日、ジェフリーすずかで開いた第3回総会では、約30人の会員の出席をいただき、格納庫再構築に向けての今後の取り組みについて3班に分かれてグループ討論しました。①再構築に慎重な新市長に働きかけるため、もう一度署名活動をする、②全国に呼びかけて1億円規模の募金を集める、などの意見が出されました。しかし、それには膨大なエネルギーを要するため、どちらの道も選択に躊躇しました。

いずれにしろ、鈴鹿市の関与抜きには実現のむずかしい話であり、まずはNTT西日本との間で合意した協議体への参加を市に求めてきました。

### ○市議会へ陳情

新しく選ばれた市長と市議のもとで開かれた6月定例会市議会に、「協議体に鈴鹿市に入ってもらおうよう議会として働きかけてほしい」という趣旨の陳情書を出しました。(3頁に掲載)

6月10日の本会議一般質問で、森田英治議員が格納庫保存問題を取り上げ、「市長がいう対話と協力はこのようなときのためにあるのではないか」と市民の会との対話を求めました。6月21日開かれた総務委員会でも、市民の会の陳情に関連して多くの議員から市に話し合いを求める発言がありました。

「議論が平行線でも、再構築が無理という結論に至っても、まず協議体に参加して話し合いする場をつくってはどうか。議員としても協議体の中に入って歴史的意義について勉強したいと思っている」「再構築が難しいのであれば市民の会と折り合いをつけ、モニユ



解体中の第3～5格納庫

メントとしてでも鈴鹿市の歴史を後世に残せるよう努めてほしい」などです。

これに対し、「再建を目的とした協議体には参加できない」としてきた長谷川正人企画財務部長は「市の方針も決まっていることであり、ここで検討しますとはいえない。ただ、枚方市にあるモニュメントのように保存・活用していく話し合いであれば、応じることができる。市制70周年を控え、市の生い立ちや格納庫が持つ歴史的意義を伝えていく重要性は認識している」と答えました。

## ○縮小案の検討

市の参加、協力がなければ、移転用地の確保、寄付金集めは困難であり、市が交渉に応じてくれそうな案の一つとして規模の縮小による再構築を検討してみました。約1600㎡の規模を2分の1か3分の1にすれば安上がりにはできないかというものです。

鉄骨建築の設計士に相談したところ、①縮小して元の形に再現するだけなら、1億円未満でできるかもしれない、②活用できる建物にするには安全上、耐震補強が必要で、内部補強したあとが目立ち、原形をとどめないかっこうになる。費用も数億円と巨額にのぼる。何よりも建築基準法の許可が出ない恐れがある、ということでした。

## ○残すべきものは

格納庫の取り壊しを前提とした議案が市議会で可決された昨年6月の時点で、保存を諦めてもおかしくなかったかも知れません。反対が3分の1あったとはいえ、多数決原理に従うのは常識ですし、市当局も、反対した人を含む議員の人たちも、そこで決着と思ったのではないのでしょうか。しかし、まだ市民が重要性を認識し始めたばかりと考え、市に方針の再検討を求める運動を展開しました。NTT西日本に取り壊しの延期を求める署名を1万2千人がしてくれました。その過程で、「鈴鹿が軍都として誕生したことを初めて知った」という市民に多く出会いました。そうした認識が広がったことは大きな運動の成果だったと思います。

再構築が困難ななか、こうした成果を踏まえ、何とか意義ある着地ができればと考えています。ご意見を頂ければ幸いです。



保管されている第4格納庫の部材

## これまでの経緯

- ・2004年3月 国土交通省、県、鈴鹿市、NTT西日本などで構成する「策定協議会」がNTT西日本鈴鹿研修センター跡地利用転換計画を策定
- ・2008年8月 鈴鹿市の戦争遺跡を保存・平和利用する市民の会(準備会)がNTT西日本と鈴鹿市に格納庫の保存を要望
- ・2009年3月 鈴鹿市の戦争遺跡を保存・平和利用する市民の会(以下、市民の会と表記)設立。当初の会員は83人、現在は約140人。
- ・2010年1月 鈴鹿市、NTT西日本、UR(独立行政法人都市再生機構)の3者が跡地の開発計画について協議。防災公園街区整備事業としてURが事業を請け負うことで合意。

- ・ 2010年3月 鈴鹿市は市議会全員協議会で、上記事業について説明。6月定例議会に関連議案を提案する方針を示す。
- ・ 2010年5月 全員協議会の開催と内容を知った市民の会は市議の理解を求めべく全会派を回り、保存を訴える。
- ・ 2010年6月 防災公園整備事業など関連3議案が提出され、賛成20人、反対10人で可決される。市民の会はただちに再考を求める要望書を市長に提出
- ・ 2010年8月 マスコミ各社が記事や番組に取り上げる。
- ・ 2010年9月 格納庫の見学会と講演会を開催。構造設計の第一人者、増田一真氏が「壊すより活かして使う時代」と講演。見学の場で利用法について見学者から多くの意見が出る。「保存して活かす、活かして保存する」会の方向が出る。
- ・ 2010年10月 NTTから、来年1月から取り壊しにかかり、3月末までに撤去する、この方針が示される。
- ・ 2010年11月 取り壊し方針撤去をNTTに求める署名活動を始める。
- ・ 2010年12月 1万1362人分の署名簿をNTT本社に提出。最終的には1万2018人集まる。
- ・ 2011年1月 格納庫保存を考える市民シンポジウムを文化会館けやきホールで開く。300人を越える市民が参加。
- ・ 2011年2月 1棟(第4格納庫)を部材保存することで、NTTと合意。
- ・ 2011年2月 20日、格納庫のお別れ見学会を開く。約150人が参加。翌21日から取り壊し着手。
- ・ 2011年3月 市長選立候補予定者に公開質問状、市議選立候補予定者にアンケートを出し、回答をもらう。
- ・ 2011年6月 協議体への市の参加を求める陳情書を市議会へ提出。

平成23年6月8日

## 協議体への参加に関する陳情書

鈴鹿市議会議長 青木啓文様

鈴鹿市の戦争遺跡を保存・平和利用する市民の会  
(共同代表 加藤二三子・竹内宏行)

### (陳情の趣旨)

鈴鹿市誕生の証しとなる歴史遺産として私たち「市民の会」が保存を求めてきたNTT研修センタ跡地の旧海軍格納庫は、所有するNTT西日本の手で3月末までに解体されました。その中で、3棟のうち1棟(第4格納庫)は再建できるようていねいに解体され、現在、元の場所付近に保管されております。これは鈴鹿市民はじめ全国から集まった1万2千人の署名をNTTが受け止めてくれたものです。

NTTと「市民の会」との間で、①保管した部材の再利用方法は「協議体」を設けて検討する、②解体した部材の保存期間は今年末まで、との合意書を交わしています。「協議体」にはぜひ鈴鹿市に入っただき、白紙に近いところから検討してもらえればと考えております。そのため、鈴鹿市当局の参加を、議会として働きかけていただければと、陳情する次第です。

# 平和を考える集い～朗読劇と語り合う会～

- ☆日 時 2011年8月21日(日) 13時～16時  
☆場 所 鈴鹿市白子公民館2階ホール(鈴鹿市江島本町1-1、TEL 388-1920)  
☆内 容 第1部 鈴鹿麦わら帽子の会による朗読劇「鈴鹿、その時」  
第2部 語り合う会  
・格納庫保存に関する経過報告、・市制70周年に向けて、  
・軍都・鈴鹿の戦争と平和を伝える、・平和資料館の必要性など
- ☆その他 ・入場無料  
・1階ロビーにて戦争遺跡写真展示会を開催します。  
(8月15日(月)～26日(金))

## 写真展示会のご案内

- ☆日 時 2011年9月12日(月)～18日(日)  
☆場 所 鈴鹿市役所1階市民ギャラリー(鈴鹿市神戸1-18-18)  
☆内 容 旧鈴鹿海軍航空基地格納庫を中心とした写真展示

## 来年夏、鈴鹿で戦争遺跡保存全国シンポジウムを開催！

戦争遺跡の保存運動を進める全国組織・戦争遺跡保存ネットワーク(代表・十菱駿武さん)が中心となって毎年全国で開催されている大会が来年、鈴鹿市で開かれることになりました。

- ★大会名 第16回 戦争遺跡保存全国シンポジウム三重県鈴鹿大会  
★日 時 2012年8月18日(土)～20日(月)  
8月18日(土)全体会、19日(日)分科会、  
20日(月)戦争遺跡見学会  
★会 場 鈴鹿市文化会館 けやきホール



第13回高知大会(2009年)

鈴鹿市の戦争遺跡を保存・平和利用する市民の会 (代表; 加藤二三子、竹内宏行)

〒510-0254 鈴鹿市寺家1-2-47

電話 059-388-6508

メール ta818hi@mecha.ne.jp

HP <http://www006.upp.so-net.ne.jp/asao/peacesuzuka.htm>